

水は命・河童は心

かっぱ新聞

発行所
河童連邦共和国〒113-0022
東京都文京区千駄木3-28-7-103
電話 03(3828)3034
郵便番号 00140-8-12901
©河童連邦共和国2003年

隠岐の島の河童サミット

河童連邦共和国 副大統領 森本 佳直



山陰地方での河童サミットは平成18年に「第19回河童サミット鳥取」が皆生温泉で行われており、今年の鳥根県隠岐の島と鳥取県皆生温泉にまたがる日本海サミットは7年ぶり、しかも初めての隠岐の島開催なので期待感が

大きく広がりました。1日前に空路米子入りし、のんびりと電車の旅を味わいながら、植田正治写真美術館を訪ねました。境港市生まれの写真界の巨匠、植田正治の生誕100周年特別企画展を見ることができました。小津安二郎の映画にあるような静かな写真もあり、大山を真正面に眺めるロケーションには圧倒されました。米子市街地のアーケード商店街をのぞくと、若い

感覚の店が目立ち活気が出てきたようです。翌、河童サミット当日は境港の高速船の出航まで水木しげるロード商店街を散策しました。道路が整備され、河童の泉などができて変貌を遂げており、店には鬼太郎グッズが溢れておりました。水木しげるロードの権田会長にお聞きしましたが、全国各地から観光客ばかりでなく行政の方々も見学に見えるそうです。河童の泉と向かい合っている大山隠岐かつば村岡空晴夫村長(千代むすび酒造)のおもてなしでくつろいだ後、待望の隠岐の島に向かいます。早速かつば遊覧船に乗ります。女性ガイドさんの河童の紙芝居、民謡などには心なごむひと時でした。隠岐は海あり川あり山ありの自然に恵

まれた素晴らしいところですが、歴史的にも名所旧跡が多く見られ、北前船の時代の繁栄の影響もあり、古い立派な建物が残り、都会的な面もあって意外な感じを受けました。河童サミットでの総会の後の河童フォーラムは、九州八代の田辺達也名誉顧問と同学院大学の飯倉義之先生のレベルの高い河童トークショウが印象的でした。3日目は船で島巡りです。西郷港の出航フェリーでは「別れのティーブー」を初体験、ティーブーの多さには驚きました。島前を観光して島根半島の七瀬港から境港経由で、夜の河童交流懇親会のある皆生温泉へ。入浴後の和やかな宴会は料理もおいしく、楽しく盛り上がりました。

最終日は60年目の遷宮を迎えた出雲大社へ、次は古い城下町の面影のある松江城へ、そして牡丹と朝鮮人參で有名な大根島で一年中咲き誇る牡丹を見学し、山陰との名残を惜しんで米子空港へ。驚いたことに米子空港では、出迎えから滞在中にも一緒に演出をしてくださった着ぐるみの河童の三平君とかん平君達(暑い中お疲れ様でした)いや岡空村長までが見送りに来てくれたことです。至れり尽くせりのお心配りを感じた旅行となり、まことに有難うございました。



第26回河童サミット日本海特集

シリーズ

かっぱと私 (88)

ありがとうございました

副大統領

宇田川 敬之助

「第26回河童サミット日本海」が、開村間もない大山・隠岐かっぱ村の精力的な取り組みと適切な運営で、盛大かつ有効裡に行われたことを、本当にうれしく思っております。

あわせて、岡空村長をはじめ関係の方々、関係の皆様方に、心から感謝申し上げます。

例年より早めに入った梅雨の時期だけに心配しておりましたが、予想外の晴天続きで、関連行事はもとより、「かっぱ探訪」を中心とする観光ツアーも、快適にすすめられ、思い出多い旅となりました。私の村では、平野助

役・神谷事務局長、妻と私の4人で参加させていただきました。

サミット後の全国河童交流会では、久方ぶりの再会や新しい河童仲間との親交を深めることが出来ました。これがサミット開催の最大の目的だと考えます。ともかく「大成功」を重ねて関係の皆様方に感謝申し上げます。

私どもの「ふるさと浦安かっぱ村」も、来年4月満十年の節目を迎えます。出来ましたら全国の河童仲間にお集まりいただき、記念行事を行いたいと思っています。その節には「東京デイズニールランド」と海と川に囲まれた、昔の面影も残る浦安へお運び下さい。

後日あらためて、ご案内申し上げます。よろしくお願いたします。

梅雨晴れ間

河童の里も湯気気味

仲間集いで心潤う

敬之助



盛りだくさんで大満足

札幌かっぱ村

村長 石黒 光男

6月7日、10日。岡

山空港から、鳥取砂丘に寄り砂丘と砂の美術館を見てきました。初めての砂丘に、どれだけの大きさと期待して行きましたが、意外と小さかった。でも砂の

上を歩くのは大変でした。大きな丘の砂丘という感じでした。丘の上からすぐ下が海。50メートルくらいはありますかね。砂の坂を降りて上がるのには67歳の私にはチョッと無理、やはり若い人にはかなわない。らくたがいと天はしやぎの札幌メンバー。かなり前から居るようで、何代目かな。

8日。境港の岡空村長の進行で恒例の祭事。祭事会場の前が、岡空さんのお店、千代むすび酒造。札幌のメンバーが着く前にすつかりご馳走になり、お酒も入り、皆さん上機嫌。我々も河童のメンバーに合流。「祭事ありますよ、集合、集合」で始まりました。素敵な奥さんの司会で祭事が始まりました。できあがっている人もいて、天気も良く、最高の祭事でした。境港からは船で高速双胴船で1時間半くら

いで隠岐の西郷港に着きました。大きい島は島後(ウゴ)というそうです。西郷港は、瓢箪口で波が穏やかで、明治までは北前船の避難寄港地で、多いときには1千隻以上避難したとか。この島は、直径20キロくらいの島です。隣は中ノ島、西ノ島、知夫里島と、あとは、かなりの数の無人島だそうです。

鎌倉の時代、北条政子に承久の乱で敗れた後鳥羽上皇が1221年から19年、亡くなるまで海士(あま)町に幽閉されたそうです。その他、主に政争に負けた政治犯で3000人以上の人が流されたとか。大方は赦免されたが、やり手の法皇は赦免されなかったようです。隠岐で行われる牛突は法皇を慰めるため始まったとのこと。後鳥羽院資料館は見ごたえありました。当時の刀とその後の刀の違いなど、

流された人々たちによる文化の流入が、島ならではの閉じられた世界でよかったです。もう少しゆっくりした時間で楽しむ場所ですね。

境港は、NHKの水木しげるのおかげで、妖怪ロードに観光客が来ていました。

懇親会の皆生(かいけ)温泉。ここも海に面し、素敵な温泉。六道湖のしじみ汁を食べ、一路出雲大社に向かいました。60年に一度ある大遷宮が行われ、今年いっぱい色んな行事があり、参拝者でにぎわっていました。大きなしめ飾りに妻もびっくり。「これ地震で落ちてきたら死んじゃうよね」「変なこと考えずちゃんとお参りしたら」と、でも本当に大きい。大社も、もっと大きいかと思っただけでもないか。これも昔は倍の48メートルの大きさがあって、確か階段上の拝殿

の記憶があるけれど、

もう1つ松江城を見て、堀川遊覧船にも6人で乗りました。1人、1200円。もし行ったら乗る価値はあります。それに出雲で食べた出雲そば5段。わんこそばの感覚で10段にしようという店員さんによると、「5段で腹いっぱいになりますから」。皆大満足でした。素直に聞いたといてよかったです。帰りに鳥根ワインナリーに寄りワイン飲み放題、まだまだありますが隠岐は良いところ。歴史や河童、可愛い妖怪ロード、それに千代むすびのお酒。行かなかつた人は残念なことでした。もう一度行きたいと札幌のメンバーの言。

境港市観光支援自販機

境港市観光協会

(福留)

「第26回・河童サミット日本海」の開催に合わせ、

せて、鳥取県境港市の

水木しげるロードそばの「千代むすび酒造場」(代表取締役の岡空晴夫様は、大山隠岐かつぱ村の村長)敷地内に「境港市観光支援自販機(大山隠岐かつぱ村)」が設置されました。

6月8日(土)に、水木しげるロードの河童の泉で「第26回・河童サミット日本海」の歓迎セレモニーが行われました。際に、参加者に広く紹介されました。

この自販機には、大山隠岐かつぱ村キャラクタ―・福かつぱ大明神のイラストや、隠岐の島の八尾川かつぱ公園にある石像(ふれあいかつぱ・相撲かつぱ)の写真がペイントされています。また、「第26回・河童サミット日本海」開催記念2013.6.8」と記載されています。

鳥取県境港市にお越しの際には、河童の泉とともに、「境港市観光

支援自販機(大山隠岐かつぱ村)を一度ご覧下さい。

TEL

085914713880

FAX

085914713885



河童遊覧船

さいたまかつぱ村

村長 今井 勝

初めての隠岐の島、仲間を誘い7名で参加しました。一番の楽しみは「河童遊覧船」でした。乗船場近くに河童公園があり、そこには河童が沢山いた。わくわくしながら乗船、船に乗りながら、どんな河童に出会えるのだろうと期待していたが、残念ながら河童は居なかった。「河童遊覧船」

の案内図には河童のイラストが多数描いてあり、河童を巡る遊覧船のイメージを勝手に作り上げていた。

天候も良く、川風、海風に吹かれながら周囲の景色を楽しんだ。そして船頭さん、ガイドさんの気持ちの良い案内に楽しい遊覧船であったが、河童が居ない「河童遊覧船」には少しがっかりした次第です。船を河童で飾るか、岸辺に楽しい河童の石像でも置いて欲しいものである。

今回のサミットでは期待以上が、岡空村長



宅での「お接待」と「河童フォーラム」、期待通りが「牛の角突き」、変わらなかつたのが「総合運営」と「役員対応」であった。

一年に一回の逢瀬である。多くの河童友人に出会えて楽しいひとときを過ごせるよう役員諸氏には格別のご配慮とご苦勞をお願いしたいものです。

大山・隠岐かっぱ村の皆様から御礼申し上げます。

長唄「念仏河童」

副大統領

三瀬 勝利

晴天の内に「第26回河童サミット日本海」が無事に終わり、大山隠岐かっぱ村の方々並びに関係方面の方々の大変なおもてなしを頂きまして本当に有り難うございました。

境港・隠岐の旅、並びにサミットの感想は他の皆様方におまかせし、

私は懇親会でお披露目された

「念仏河童」について語ってみます。曲は長唄

「念仏河童」。京都のお家元様が所有しておられた曲に隠岐の河童伝説をもと

に、隠岐の若柳松園(しようえん)師匠が振り付けして、今回舞って頂いたのは、お孫さんの松本佳奈さん25才です。

佳奈さんは2才から日舞をはじめ、15才で名取、16才で師範名取になられた、立派な舞踊家です。今でもお稽古に励んでいられるお嬢さんです。

隠岐の島には、河童伝説が残っておりますが、この「念仏河童」の他、「河太郎」と云う短い曲もあり、とても楽しい曲と踊りがあるそうです。又の機会には是非に踊って頂きたいと願っております。



隠岐の島に埋もれていた河童踊りが今回、日の目を見て全国のかっぱ達にお披露目されましたが、大山隠岐かっぱ村の皆様が、この「念仏河童」「河太郎」の踊りをDVD等に撮り、隠岐の島の河童伝説と共に末永く保存される様に願っている次第です。

私は河童の子孫です

藤山市川辺村

出島 勝馬

長崎県五島列島には河童伝説が多く有り、河童の島とも言われます。そこに住む私の親元には、約200年も昔からの河童伝説が有

り、先祖代々、その河童様を大事に祀っているのです。

その謂われは、昔々、お爺さんは山に芝刈りに、その婦り道、薄暗くなりかけた山の道端に座り込んで居たのは、

仲間に苛められて、お腹を空かして泣いて居た河童の子供。じいちゃん

は馬車に乗せて、我が家まで連れて帰ったそうです。

ばあちゃんに話を話して、腹一杯ご飯を食べさせて、近くの浜辺に連れて行って自由に放してやったと云う、その海辺は馬車に乗せた山の麓まで続いていたのです。

それ以来、魚をお礼に貰ったとの伝説も無いのだが、なぜか、我が家では、神様、仏様に加えて河童様を祀っているのです。

今迄200年の間、河童の姿、形が無くて祀る張り合いが無かつたのですが、5月、法

事で帰省の折、祠と5人河童像を建立したのです。1年がかりの構想と準備でしたが、5月半ばに完成して神宮さんにお祓いをして貰い、やっと安堵の胸を撫で下ろしました。

その結果で、楽しみに待って居た第26回河童サミット日本海、その出発準備に、慌てながらも切り替えられたのです。

河童サミットも、米子、隠岐の島観光も初参加でしたが、地元の方の河童伝説、そのルーツは熊本九千坊の流れが海流に乗って隠岐の島に上陸したと云う話でしたが、大いに勉強になりました。

私も、故郷の五島列島の河童ルーツは何処だろうと気になり、福江市立図書館に有る多くの民話集を調べましたが解らずにおりました。それが、今回の隠岐の島河童ルーツの話を聞いて、

ほぼ判明したのです。

それは、熊本から隠岐の島迄のコースの途中に有る五島列島にも船は停泊し、水、食料の補充や、風待ちもしたでしょう。そして、一部の河童群が上陸したと考えられます。オー、何と云う、河童サミット日本海

のもたらした、幸運の女神河童群、それが五島河童群のルートだったのではと考えられます。五島列島河童群感動の声、ヒュー、ヒュー、ヒュー。

今回のサミット会議に於ける、河童フォーラム、懇親会、名所めぐり。その中には河童公園の河童群達との出会い。又、3日間に渡る人間に化けた河童先輩達との交流。河童間で交わす、挨拶、情報交換、笑顔。2泊3日の河童旅行は楽しく最高で有りました。

次回も大いに楽しみます。年に2回位有っても良いですね。今

後も、イベント企画、かっぱ新聞楽しみます。関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。どうも有り難う御座いました。

異例尽くめのサミット

河童大学かっぱ村

村長 佐々木 篤

群馬県に住んでいることから、例年のサミットへの参加は、自力で移動しての、単独現地集合でした。ところが、今年の会場は、遠く離れた山陰地方です。東京からの交通は整備されていて、ほとんど絶望的なのが日本です。今回初めて、前泊しての東京発。大統領府の皆様、東京諸村の皆様との同行ツアーでの道中でした。

異例尽くめの今回のサミットです。過去にも神事とサミット会場、懇親会や宿泊場所が違う場所だったことはありましたが、二つの県

を跨いだのは初めてでした。おそらく今後も無いでしょう。

北関東に住む私です。

今回のサミットが無ければ、おそらく、一生行くチャンスは無かったと思われる隠岐の島に行けたことが、今年の収穫でした。

さて、その隠岐の島

さすがに、日本最初の固定公園であるだけに、美しい島の自然は感動的でした。二日目に行つた島前。松ノ木がほとんど無い島でした。雑木ばかり、ちよつと異様な風景でしたが、ガイドさんの説明「松くい虫によって全滅しました」とのこと。本土ならば、一山が枯れても、しばらくすれば自然に復旧する。それが、閉ざされた環境の小島では、絶滅すると自然には戻らない、独特な生態系になる。ガラパゴス化する。理解していても、実感することはめつたに無い

ことを体験できました。

最後に、面白く感じたこと。漁港があり、漁船が多く停泊しているのですが、魚市場が無い。本土の漁村などに良くある、観光客向け海産物の土産物屋がありません。ガイドさんに聞くと「漁船は海を終わると、本土の境港に収穫物を降ろし、島には空で帰ってくるので、島には海産物は少ないのです」。一般的な感覚での、海の観光地とは、一味違う、それが隠岐の島なのでした。

心がかよう

河童サミット日本海

利根川かっぱ村

村長 水野 正矩

6月8日の早朝、機上の人となり西へ、西へ。目指すは河童サミットが開催される隠岐の島。

米子空港から境港に入り、大山隠岐かっぱ村のカップバさんたちから暖かな出迎えをうける。おにぎり、味噌汁、コー

ヒー、アイスクリームのてんこ盛りサーブスタ。

これで早起きの眠気を吹き飛ばした一同は「水木しげるロード」で妖怪三昧のひとつときを楽しむ。隠岐の島へは高速船「レインボー2」でアツ

という間に到着し、バスで島後を周遊する。元高校教師のガイドさんはとても話し上手。平安時代に撮影された写真(う)を手にして後醍醐天皇、後鳥羽上皇ら3000人の流人悲話と、北前船の寄港地として栄えた隠岐の島の歴史を楽しく聞かせてくれた。更に勇猛な牝牛が角を突き立てて激突する「牛突き」で興奮のひとつときを過ごす。

河童サミットは午後5時から、会場は隠岐島文化会館。入口で目にした「隠岐の島町民憲章」に思わず見入る。「私たちは美しい自然の中で育まれた歴史・伝統・文化を大切にす



「隠岐びとの心」を未来に伝え、夢と活力のある「抜粋」とあるのです。これは「水は命・河童は心」の河童連邦共和国精神と同じに読めます。日本海という水は命から恵みを受け守られ育まれてきている隠岐島民の心とカッパの心に相通するものを感じました。総会後はカッパ達のお目当て「河童フォーラム」です。飯倉義之(国学院大学)、田辺達也(河童共和国大統領)という異色の組み合わせ。何が飛び出すやらと興味津々で耳をそばたてました。期待にたがわず思わず膝

を打つ話のオンパレード。なかでも板倉先生の「時代と共にカッパのイメージ」と意味が異なってきたという指摘に、新しい見方が色々あるのを教えられました。

2日目島前に移動、カルデラ火山で構成されている隠岐の島の雄大な景観は何とも素晴らしい。日本海に浮かぶ隠岐の島の大自然、心優しい大山隠岐かっぱ村のカッパさん達、そして島民の皆さま、全国から参加されたカッパさん達との出会いと交流に大満足しました。水と自然と文化の調和を目指した「第26回・河童サミット日本海」ありがとうございました。

秋は北海道でお待ちします

北海道河童村連合

桜庭 康喜

第26回河童サミット

日本海の大成功を心から喜ぶとともに、至れ

り尽くせりのご準備を頂きました。大山・隠岐河童村の皆さんを始め、隠岐の島観光協会、境港観光協会の皆さんに心から感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございました。

北海道生まれ育ちの蝦夷河童の私は、改めて隠岐の島の悠久の歴史の深さと偉大さに圧倒されました。飯倉先生と田辺河童共和国大統領の対談も大変参考になりました。また和氣あいあいの懇親会も盛り上がり、本当に楽しいサミットでした。恒例の定山溪河童ウォークが懇親会の席でも話題になり、多くの河童さんから秋の北海道交流会開催の示唆を頂きましたので、北海道河童村連合で検討の結果、河童ウォークに合わせて「河童族交流会 in 北海道」を9月29日～10月1日(2泊3日)、ウォーク参加者は28日から3泊4日)

で実施することになりました。

大雪山系の黒岳から見事な紅葉を鑑み、北海道の旬の味覚を堪能し、北海道発祥のパークゴルフ体験と、日本最北の河童「名寄河童大明神」を囲んでの懇親会のほか、オアションを含めて楽しい企画をしておりますので、全国の河童族の皆さんの多くのご参加を

お待ちしております。尚、お問い合わせは、札幌河童村飯島(090-1832-3261)名寄かっぱ村桜庭(090-5224-6133)までご連絡ください。



～紅葉と味覚満喫!

河童族交流会 in 北海道～

*とき 平成25年9月29日(日)～10月1日(火)

*ところ

第1日目 現地→羽田→新千歳→定山溪温泉
第2日目 定山溪→層雲峡(黒岳)→名寄市
第3日目 名寄市→パークゴルフ→空港(旭川 or 新千歳)

(河童ウォーク参加者は9月28日札幌集合)

◎申し込み締め切り 平成25年8月20日

*主催 北海道河童村連合

*後援 河童連邦共和国

◎受付責任者 タビックスジャパン札幌支店
飯島 淳二(札幌河童村村民)
TEL 011-707-1000
(携帯)090-1832-3261

河童百話

(各地の伝承シリーズ)

河童大学かっぱ村(佐々木喜善氏提供)による、河童の民話シリーズです。民話は民衆の生活の中から生まれ、民衆によって伝承された話です。大きく分類すると昔話、伝説、世間話に分かれるようです。これからストーリーは事実であるかもしれないし、信じられないことかも知れません。

河童大学 佐々木 喜

カツバの淵

その6

岩手県閉伊地区

閉伊川の腹帯の淵を歩いていた娘は、近寄ってきたカツバに声を掛けられた。「あねさん、御行の淵へ行くんべ。おれの兄きがいるから、こいつを渡してけろ」

手紙を渡された。

受け取った娘は、恐ろしくて、逆らうことはできず、とほとほと、御行の淵の方へ歩いて行った。道の中ほどまで来ると、道端の木陰で休んでいた坊さんに呼び止められた。「なにをそんなに考え込んでるんじや」

河童大学 佐々木 喜

娘が、カツバから預かった手紙の話をすると、手紙を見せろという。見せると、「これは危ないところだった。わしが書き換えてやる」

書き直した手紙を持った娘が御行の淵に着くと、カツバが待っていて、手紙を渡せと言う。渡すと、読んだカツバは、怒り出したのだが、しかたがないと思ったのか、手紙に書かれた通り、金を娘に投げつけると、淵に飛び込んで消えてしまった。娘は、金を拾い、逃げ帰ったとのことだった。

(佐々木喜善著 聴耳草紙より)

解説：柳田國男の著作「遠野

物語」の27に、良く似た話が収録されていますが、旅人は男性であり、現れたのはカツバではなく娘。もらったのは金ではなく、黄金の出る石臼です。遠野物語は、佐々木喜善氏の話が基本です。なぜ、相違があるのか不思議です。

河童のおたから

その7

秋田県仙北郡

昔、じさとはんばがありました。ある日、じさが山に出かけると、河童がまゐるようになって寝ていました。「あんまり寒くて、すかたねから寝てるだ。じさ、火っこもってきて焚いてくれ。家ものをけら」

そこで、じさは、家から火種を持ってきて、焚き火をして暖めてやりました。それから三日、毎日焚き火をしてやると、河童は、「じさ、じさ、これける」

小さな袋をくれました。聴くと、この袋に入ると、

どこでも好きなところにに行けるのだそうです。さつそく、入ってみました。「大阪さ、行きてやあ」

すっかり楽しんだじさは、袋をねじこの隅に隠しました。ところが、はんばが、作った南蛮味噌の入れ物が無かったので、この袋を見つけて味噌を入れてしまいました。それを知ったじさは、あわてて洗ったのですが、もう、袋には、不思議な力は無くなくなっていました。

いいものがあるときは、隠さないで、みんなにしゃべらないと、なんにもなくなるようになってしまうこと。トピン・バラリ・ノ・プ。(未來社版「日本の民話」より)

解説：正確には、伝承ではなく、定型フォームを持つ昔話です。しつめのための教訓はなしになっていきます。話の終わりが、遠野の「ドント・ハレ」とは違うのも面白いです。

河童
かっぱ
カツバ

村だより・国だより

◆大槌領府・事務局から

第25回河童サミット日本海はおかげで無事終了することができました。関係各位のご協力に深く感謝申し上げます。またご意見等ございましたらお聞かせください。

◆小倉川かっぱ村(黒子英男村長の開村5周年祝賀会

5月18日かっぱ茶屋に集まった河童さん達は、河童神社・河童七福神に参詣し、河童大王に見送られてバスで二階、湯西川温泉に向かいました。平家の落人伝説のあるひなびた温泉郷は河童の聖として知られ、道の駅には河童神社があり、河童絵コンテストの作品が並んでいました。売店には色とりどりの河童グッズも置かれ、買い物客の目を惹かせていました。

豊かな自然と綺麗な水に恵まれた湯西川は、河童が棲んで

「河童の文化誌 平成編」和田寛著 岩田書院 税別価格 一、二八〇〇円

いても不思議はありません。温泉と緑と清流は祝賀・懇親会に花を添えてくれました。(編)



◆ふくしま荒川水ウオーク

昨年に続いて2回目の参加です。5月11日、15キロコースに5河童が挑戦し全員が完歩。

荒川に沿って遊路には緑の森が続き、途中大きな水車が回り花が咲き乱れる公園、荒川の支流の清流は奥入瀬をほうふつとさせる風情があり、人工ではあっても涼やかな足取りでさながらゴルフインしました。



河童連邦共和国の名刺(水色で河童マーク入り)の注文承ります! 百枚入りで三〇〇〇円(送料込)。原稿を添えて大統領府事務局まで!

夕は、次回も参加することで意見がまとまりました。(編)

◆橋本川崎三太郎河童村から

村長 鈴木 義道

毎年恒例となった地元商店街、夏の風物ひらまきさんざンサーマーフェスティバルに、世代をつなぐ河童の絆と題して、「似顔絵描き&水かけ親子河童ドジョウつかみ・河童ネックレス作り」を橋本川崎三太郎河童村が参加いたします。近郊の河童の皆さん、夕涼みに是非立ち寄りください。

開催日・平成25年8月3日土曜日
橋本川崎三太郎河童村上権一(似顔絵描き&水かけ親子河童とドジョウつかみ)

時間・午後5時~8時
場 所・由武線 平間駅改札口を出て右、徒歩3分。さわやか信託會館

連絡場所・川崎屋たばこ店
青山事務局長
044-51111305

099-15424675
鈴木村長

★サマーフェスティバルは夜店で、8月末まで毎週土曜日開催しております。

8月3日(土)のメイン会場は河童村が担当です。

抽選は、川崎屋たばこ店頭で行っております。ドジョウつかみは行いません。

サンパレード・太鼓・ストリートミュージシャン等々

7月30日(土)~8月31日(土)まで毎週土曜日毎にイベントが開催されます。

於：一番街イベント広場
交通手段...

横浜・東横線・武蔵小杉・南武線・平間

横浜・東横線・川崎・南武線・平間

品川・東横線・川崎・南武線・平間

品川・東横線・川崎・南武線・平間

かっぱ山柳コーナー

◆大相撲と河童で賑わう
隠岐の鳥(三浦半島)

◆短冊に河童託すはただ健康

◆熱中症 河童も心配
皿の水(スプリング・マン)



川柳コーナーでは皆様作品を募集中です。

水辺

それはど河童好きでなくても、日頃、街中で河童と出会うことがままあるものです。

河童の文字、河童の看板、絵の河童、木・石・金属などの河童の彫像、土産物屋や民芸品店に置いてある様々な河童グッズなど、注意すると身の回りには意外と河童が溢れています。ここには河童がある筈と意識して探した喜びよりも、予期せずにいきなり目の前に現れると急に嬉しくなるものです。

ある初めての寿司屋さんで河童に出会ったことがあります。店主は河童の愛好家で、2階にいる河童に是非会ってほしいとのこと。集めた数々の見事な河童の置物を拝見しましたが、なにか得をした気分になります。群馬県蔵部温泉にある河童のお宿でくつろぎ、東京乃木坂にある河童の相模レストランで河童に再会するなど、時には良いものですね。一方、我が家の近くには河童が「河童」という居酒屋がありますが、店には河童は全く置いてなく、前の経営者の睡顔をそのまま引き継いだもので、河童には思い入れがなく、それこそ看板割



れどでした。それに、いつも通る道筋で今まで何もなかったところまで石像の夫婦河童に突然出会いました。居酒屋の店頭にある客引き河童なのです。当然店に入って酒を飲み、あるじにいわれを尋ねますが、こちらの期待ほど河童に強い関心がなく拍子抜けしました。しかし不思議なもので河童に縁のある酒の店であれば、また行きたくなくなるのは(河童)情です。(編)

大統領府事務局からのお知らせ!

◆平成25年度の国税(会費)納入方、よろしくお支払い申し上げます。

新たに河童連邦共和国の国民になられた方々

坂崎 哲也
(東京・荒川 隅田川かっぱ村)

本紙掲載記事・図等の無断転載・転写を禁じます。

次のカッパ新聞は10月10日です。